

中山道地区における「にぎわい交流拠点」の整備について

市民生活部商工観光課

にぎわい交流拠点(公共機能施設部分)について

「蕨市仮設庁舎跡地利活用基本計画」に基づき、新たな「にぎわい交流拠点」を整備するため、公共機能施設部分の設計・施工事業者について、公募型プロポーザル審査を踏まえて選定・決定し、令和7年度は、主に本施設の設計業務に取り組んできました。ここでは、現時点の取組状況などについてお知らせします。

公共機能施設(物販施設、広場、駐車場等)

【設計・施工事業者】

事業者：蕨宿にぎわい交流拠点整備共同企業体(代表構成員：株式会社高砂建設、構成員：有限会社桑子建築設計事務所)



中山道側から見たにぎわい交流拠点の全景(右は鳥瞰イメージ)

【設計コンセプト】

～蕨宿の中心に、日常や交流、にぎわいを兼ね備えた「蕨らしさ」を象徴する拠点を創出～

(物販棟)

✓ 中山道の宿場町としてのにぎわい、町屋の趣を演出

→宿場町としてのにぎわいを往時の町屋(商家)の趣により表現します。更に、中山道に面した位置にオープンスペースを設けるとともに、開放性の高い造りとする事で、散策中にも気軽に立ち寄れる施設として計画します。

✓ 事務所機能、イベントの打合せ等ができるスペースを整備

→物販棟2階部分には、公共機能施設の運営・管理を行うための事務スペースや、イベント主催団体等との打合せ・会議、一時休憩などの場としても柔軟に活用できるスペースを整備します。

(広場(2階))

✓ 都市に開かれた人工芝・ウッドデッキ広場の整備

→中山道から一段高い場所に「開かれた広場」を設置し、人工芝とウッドデッキを敷いた、日常からイベントまで多目的に利用できる空間を造ります。また、キッズスペースを設けるほか、周辺環境に配慮するため防音壁を設置します。

✓ 猛暑時などにも安心して過ごせる室内空間を整備

→昨今の猛暑等にも対応できるよう冷暖房を完備した室内空間(休憩スペース)を整備します。更に、室内には授乳室を設けるほか、イベント・講座などでの利活用も見据えた施設として計画します。

(その他全般)

✓ 中山道の歴史的景観との調和

→街並みと調和した伝統的和風建築物の趣を再現し、蕨市の新たな観光資源となるシンボリックな施設を整備します。

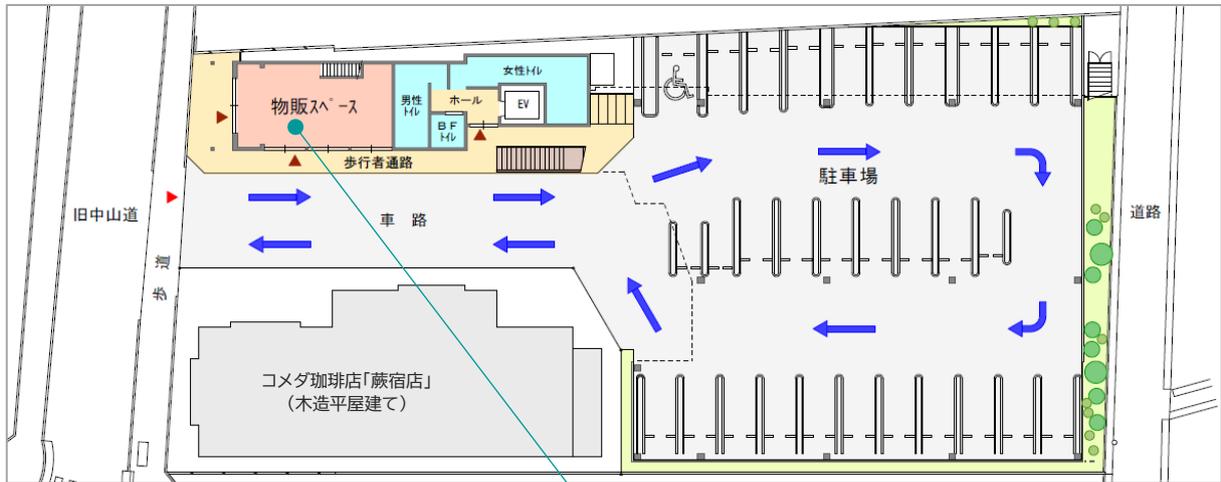
✓ 誰もが使いやすい施設整備

→ユニバーサルデザインに基づき、分かりやすいサイン計画(ピクトグラム等)や構造(段差の解消等)を採用します。

【設計状況について(令和8年2月16日時点)】 ※今後変更となる可能性があります。

◆1階部分について

民間機能施設部分(コマダ珈琲店「蕨宿店」と向かい合うように、中山道側に物販棟(1階:物販スペース、トイレ等)を配置し、車路を通り抜けた奥のスペースに30台分の駐車場を整備します。



物販棟(物販スペース等)

往時の町屋(商家)を表現することで、宿場町としてにぎわいを見せた蕨宿の趣を演出します。また、店舗前には縁台やベンチを設置できるスペースを設け、出入口(正面・側面)は大きく開口できる構造とします。通りからの店内の視認性を高めることで、集客や物販の促進を図ります。

正面には、双子織暖簾等を掲示し、来訪者をお迎えます(写真はイメージ)。



物販スペース内

木の温もりや宿場町の雰囲気を感じさせる内装装飾を採用します。木製の商品棚や壁面ディスプレイにより、商品の魅力を引き立てます。

【構成(主なもの)】

物販棟(1階部分)

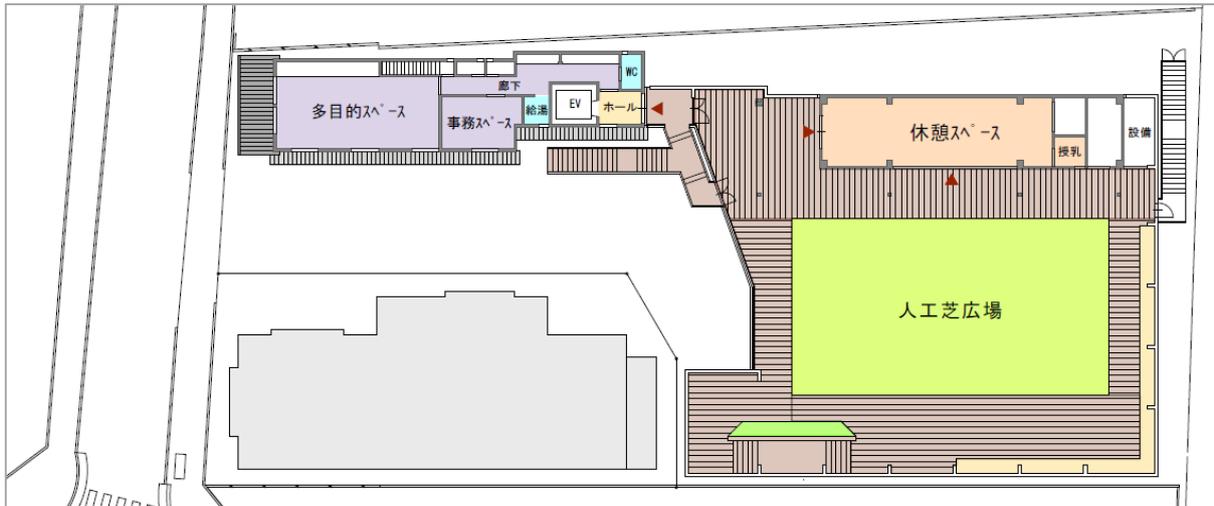
施設	面積	仕様等
物販スペース	約 52 ㎡	外観とも調和する木調で落ち着いた雰囲気の内装装飾を採用
男子トイレ	約 14 ㎡	個室(1ブース)、小便器(2台)、ベビーシート(オムツ交換台)、手洗いカウンター(2箇所) ※個室にはベビーチェアあり
女子トイレ	約 23 ㎡	個室(4ブース。うち、1ブースは子ども用便器を備えた親子トイレ)、ベビーシート、手洗いカウンター(3箇所) ※個室にはベビーチェアあり
バリアフリートイレ	約 5 ㎡	オストメイト対応、ベビーシート・ベビーチェアあり
エレベーター	バリアフリー対応の9人乗りエレベーター(2方向出入口タイプ)	

車路・駐車場

施設	面積	仕様等
駐輪場	10~15台程度(イベント開催時等は別途駐輪スペースの確保も検討)	
駐車場	約 738 ㎡	30台分(うち、軽自動車3台、思いやり駐車場1台) ※利用時間外は車止め等により進入防止対策を実施。なお、東側道路からの車両の出入は不可。

◆2階部分について

物販棟の2階には、事務・多目的スペース等を整備します。広場部分には、人工芝広場とそれを囲むウッドデッキ調の回廊、キッズスペース、ベンチ等を設置するほか、北側に室内空間(休憩スペース)を整備します。



室内空間(休憩スペース等)

室内には、冷暖房を完備するとともに、休憩時に自由に使用できる机・イス(約20人分・可動式)や授乳室を設置します。また、広場でのイベント時には前面を開口して利用でき、軒を深くすることで日除けスペースも確保します。

防音壁

周辺環境に配慮するため、広場の周囲には防音壁(約3m)を設置することで、広場で発生する音の拡散を抑制します。



人工芝広場等

子どもが素足でも遊べる人工芝を整備し、周囲にはウッドデッキ調の回廊やゆったりとくつろげるベンチ等を設置します。

キッズスペース

子どもが安全に楽しく遊べるキッズスペースを設けます。なお、現時点では幼児向け遊具(クライミングマウンテン等)の設置を予定しています。

広場には、物販棟脇の階段やエレベーターで上がることができます。

【構成(主なもの)】

物販棟(2階部分)

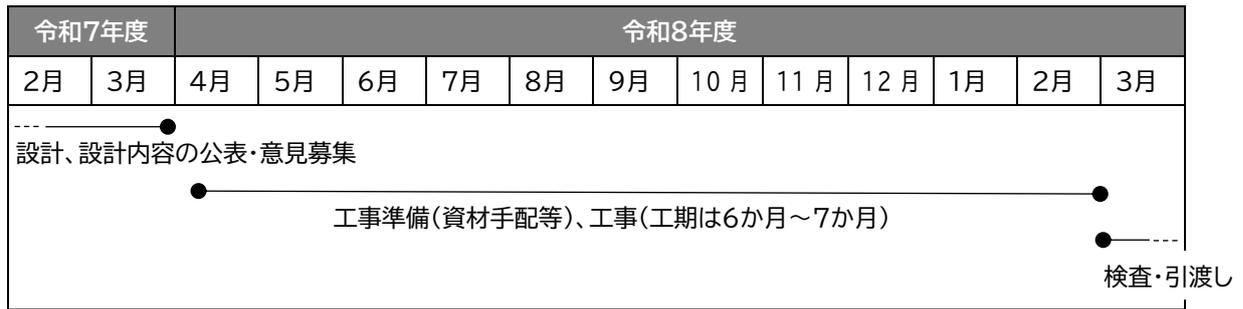
施設	面積	仕様等
事務スペース	約 16 m ²	公共機能施設の運営事業者用の事務スペース
多目的スペース	約 46 m ²	打合せや会議等に活用(20名程度の会議用机・椅子も設置予定)

広場(駐車場2階部分)

施設	面積	仕様等
人工芝・ウッドデッキ等	約 536 m ²	メンテナンスを考慮して人口木のデッキ材と人工芝を採用。外周部にはベンチや水場を分散的に設置
休憩スペース等	約 61 m ²	空調設備や授乳室を備えた休憩スペース。広場に向けて開放性のある扉を採用。軒を深くして日除けスペースを確保
キッズスペース		親も子どもも安心して遊べるキッズスペース(幼児向け遊具)を整備

◆整備に向けたスケジュール(予定)

今後の公共機能施設部分の整備スケジュールは以下のとおりです。



【にぎわい交流拠点(公共機能施設)の運営について】 ※今後、運営事業者を公募予定

運営事業者の役割：公共機能施設の運営(物販、広場の管理等)、ソフト事業の企画・実施等を予定

(物販業務)

- ✓ 蕨ゆかりの品(わらびりんご商品、蕨ブランド認定品等)の販売
- ✓ 中山道69宿の名産品、ふれあい交流自治体等の特産品の販売

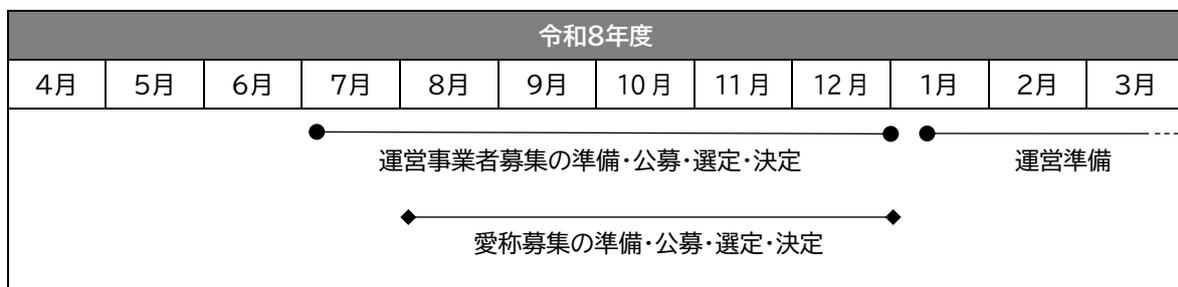
(ソフト事業) ※運営事業者の自主事業や地域との連携により実施

- ✓ 集客力を高める事業(マルシェ、子ども縁日、親子教室、地元野菜や県内特産品の即売会等) <★>
- ✓ 回遊性を高める事業(まち探検、ガイドツアー、スタンプラリー、サイクリング等) <★> など

<★> 特に事業者のアイデアやノウハウを活用したい項目

◆運営に向けたスケジュール(予定)

公共機能施設の運営事業者や施設の愛称募集などのスケジュールは以下のとおりです。



※施設の供用開始は令和9年度上半期を予定

【ご意見の募集について】

にぎわい交流拠点の整備内容や今後の運営に関して、ご意見がある方は、令和8年3月23日(月)までに、郵送・持参・ファックス・メールにより下記までお寄せください。本事業は、市民の皆さんの声をお聴きしながら進めていきたいと考えておりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

※本事業は、「蕨市仮設庁舎跡地利活用基本計画」等に基づいて進めているため、頂戴したご意見等が必ずしも反映できるものではありませんので、あらかじめご了承ください。なお、これまでの取組状況は、下記の市ホームページ(2次元コード)から御覧いただけます。

ご意見の提出先：〒335-8501 蕨市中央5-14-15

蕨市 市民生活部 商工観光課(市役所3階・14番窓口)

電話：048-433-7750 FAX：048-433-7490

メール：shouko@city.warabi.saitama.jp



▲市 HP はこちら